

令和元年度 大阪府立交野支援学校四條畷校 第2回学校運営協議会 報告

1. 日時・場所	令和元年11月25日(月)午前10時00分から12時00分・交野支援学校四條畷校准校長室	
2. 出席者	【学校協議会委員】	
	高塚 良則	元大阪府立学校長
	田中 彰	四條畷市砂自治会長
	杉本 匡子	(社)るうてるホーム通所事業部長
	加藤 美朗	関西福祉科学大学准教授
	北口 信二	北河内障害者就労・生活支援センター長
	西田 由紀子	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長
	【事務局】	
	准校長	赤木 瑞枝
	教頭	河上 鉄男
	課長補佐	香西 朝夫
	首席・中学部主事	溝部 晃輔
	首席・高等部主事	村上 智則
	傍聴希望者なし	
3. 次第	(1)准校長あいさつ (2)「令和元年度学校経営計画及び学校評価」進捗状況 (3)授業参観アンケートについて (4)その他	
4. 報告	「令和元年度学校経営計画及び学校評価」について 准校長より、本年度の取組内容及び自己評価の進捗状況について中期目標ごとに説明。 「進路や交流等」に関わる部分については、進路や生徒の主体的な活動、居住地校交流について現状を説明。 学校の「安心・安全」に関わる部分では、施設整備の現況や給食以外のアレルギー対応、個人情報保護や危機管理についての現状を説明。 主に教員の授業力や専門性の向上に関わる「豊かな学び」については、授業見学の課題、ICT活用、新たなシラバス作りについての現状を説明。 「開かれた学校づくり」として、地域との交流として砂地区の夏祭りや障がい者週間イベントに参加した様子を説明。 「学校組織作り」については、新しい校区割に関する対応や職場の環境改善に向けた現状を説明。 次年度分については、第3回学校運営協議会で承認を得る。	

授業アンケート(2学期分)について

例年通り、授業参観時にアンケートを配布している。
結果はどの項目についても肯定的なものとなっている。ただ提出率の低さは依然あるものの、少しずつ授業アンケートについて保護者の中で浸透してきていると思われる。
また、意見の中にあつた「呼名の仕方」については、地域の学校で「さん」で呼ぶことが定着してきていることもあり、課題としていく。

学校教育自己診断アンケートについて

前回確認した通り質問項目を変更したうえで、12月初旬に配付し実施することが確認された。次回の第3回学校運営協議会で結果および分析結果を報告する。

委員よりの意見

高塚会長より、学校経営計画については進捗状況を全教職員が理解していることが大切で、その上で今後の取り組みにつなげるようにとのお話があつた。学校だけではなく将来を見据えた広い視野で取り組むことが必要である。地域の中での自立の支援、身につけた力の定着と汎化を意識すべきである。また、シラバス作成についても、新学習指導要領に即しながらも、中高の学部間の関連性・系統性を意識できるようにとのことであつた。

加藤委員からは、教員間相互の授業見学がなかなか進んでいない現状から大きくやりかたを変えてみてはとの提言があつた。具体的に長期休業中にグループを作ってテーマ別に研究したり、全体として一年ごとにテーマを決めて勧めてみたりしてみてはどうか。

北口委員は、各校に設置されている職業コースが、学校任せにされていて現場でも疑問の声が出ている現状の紹介があつた。仕事の定着率について、卒業後すぐの就職と数年間福祉サービスを受けてからの就職では、福祉サービスを受けた後の定着率が高いなどのといった情報提供があつた。

杉本委員からは、ICT 教育に関して、通所部門ではタブレット等のニーズの高まりを感じている、と言つたお話があり、お勧めのアプリなどがあれば教えてほしいとのことだつた。

田中委員からは、先日の地域行事で四條畷校を利用したときの謝辞があり、今後も連携を深めていきたいとのことであつた。とりわけ、防犯・防災面での質問があつたので、学校側・自治会側の情報を共有しあい、今後も連携を強めていくことを確認した。

西田 PTA 会長より、ご自身の息子さんがスポーツフェスタに参加されての経験から、校外での任意参加の行事(スポーツフェスタやバスケットボール大会など)をもっと周知し、より多くの参加者を募ってみてはどうかとのことであつた。

その他

今年度の会議日程

第3回学校運営協議会 令和2年 2月(仮)

詳細な日程については後日調整の上決定。